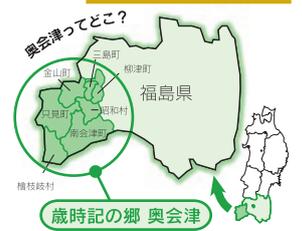


奥会津だより



降雪が遅かった奥会津に、氷の花が生まれていた。
立ち枯れた草の茎から飴菓子のような氷のひだ。
生き続ける根が、水を吸い上げ続ける呼吸のカタチ。
いつもは雪の下で見えなかった植物たちの冬の営みが、
春を信じる希望のように姿を現した。

写真：半沢政人 撮影地：三島町

水害のこと(祖母に聞く)

渡部 美咲 (平成二十一年三月当時 金山町立横田中学校二年)



昭和四十四年八月十二日。
朝、起きたらヤクルト屋さんが「たいへんだー。家が流されそうだ。」と配達に来て言った。かけ足で山入の入口の家に行き、荷物運びを手伝った。運んでいる間に家の中に水が入ってきた。「橋が流されそうだから家に帰ってください。」と言われ、家に帰った

らおばあちゃん息子と娘が玄関に入ってきた水をくんで外に出しての山が崩れてきそうだから避難してください。」と言われたので避難した。その時はもう川の近くの家や作業場が流されていた。水がひけてきた頃には山入から牛、豚、ヤ

らおばあちゃん息子と娘が玄関に入ってきた水をくんで外に出しての山が崩れてきそうだから避難してください。」と言われたので避難した。その時はもう川の近くの家や作業場が流されていた。水がひけてきた頃には山入から牛、豚、ヤ

取材ノート 「十年前の聞き書き・その後」

Q..美咲さんが横田中学校二年生の時に、おばあちゃんから水害の話聞いて下さいました。

美咲さん..おばあちゃんから聞いたんだよね。

祖母..水害のことか。朝、只見川があふれて、橋が流されそう、ウチ(家)も流されそう、って教えらったの。ここはまだその頃はさすけないから、橋を越えたところに郵便局に出てや

る人がいたの、その家の荷物運びを一生懸命手伝った。そしたら、「橋が落ちそうだから、早く帰れ！」って消防の人に言われてウチさ戻ってきたの。

Q..牛、豚、ヤギなどがいっぱい流れてきたそうですね。

祖母..そう、それはその神社に行くところの橋に行ったら死んだ動物たちがいっぱい流されてきた。

若菜さん..その時ここは大丈夫だったの？
祖母..大丈夫だった。ただ、稲の穂が出

たところの田んぼが砂で埋まってしまった。泣きたくなるくらいひどかったよ。

Q..子どもが小さいので大変だったですね。祖母..子どもって、美咲たちのお父さんと妹がいた。昭和四十四年の三月に私の旦那が亡くなったので、自分で出来ない田んぼの仕事は人を頼んでやった。ほんとは大変だった。このまま生きていられんのかなあ、って思った。

Q..美咲さんは、郡山で小学校の先生。美咲さん..郡山は核家族が多いから、おばあちゃんも話すという機会も少ないし、部屋も個々にあるから、世代間でコミュニケーションをとることもないんだらうな、と思います。

Q..大変な時に子育てをされて、子どもはかわいいですけれど、孫もかわいい。どこが違いますかね？

祖母..それはね、子どもを育てている時は働かんなんね、働けばっかりで、子どもをみている暇がなかった。孫になれば責任がないから、ほんとかわ



祖母 渡部タミ子さん (昭和八年生 八十六歳)

孫 渡部 美咲さん (郡山在住・平成七年生 二十四歳)

孫 渡部 若菜さん (福島在住・平成八年生 二十三歳)

いいわな。おばあちゃん(義母)が子どもたちのめんどうをみてくれていた。私は、働かないと食べていけないから。土方やって、帰ってきて田畑の草刈りやったり、缶詰工場に行ったりしてはいた。休む暇がなかった、私ばかりではない、みーんなそうしてはいたから。でも、旦那さんいる人っていない人では違うよな。

Q..雪道の運転は危ないだらうと、暮れの帰省にはお父さんがお二人を迎え



写真・文..新国 勇

ノスリ

一年を通して生息する猛禽。トビより一回り小さい。ネスミ、ヘビ、カエルなどの小動物をエサとして暮らす。だからノスリがいるという事は、里山環境が豊かな証拠。奥会津ではマグソダカと呼び、ふつうに見られる。



に行ってくれたそうですね。

美咲さん..若菜さん..雪道の運転はまだ自信がないので...

※美咲さんは郡山市で小学校の教員。若菜さんは福島市で認定こども園の先生と、立派な社会人になっていた。弟さんと妹さんも、お姉さんたちの帰省を楽しみにしていた。

写真・文 眞 菅 敬浩

雪下ろし援軍



どんなに雪が少ない年とはいえ、雪下ろしは雪の国の厳しい日常だ。自宅の雪下ろしはもとより、集落の公共建造物は、集落総出で何度も雪下ろしをする。

毎年、こうした作業中にケガをしたり命を落とす人は後を絶たない。一〇〇mの屋根に締まった雪が一m積もれば、重さは五〇トンにもなるという。一人では決して雪下ろしをしないという不文律があっても、人手が調整できないまま積雪の限界を迎えてしまふこともある。たとえ危険を犯しても、雪下ろしは家を倒壊から守る必須作業なのだ。

豪雪地帯といわれる奥会津の雪は重い。遠来の援軍は、何よりありがたい力となる。

奥会津巨木めぐり

写真・文・新国 勇

宇奈多理神社の 老杉

(金山町大塩)

巨木といえば深山幽谷にありそうだが、実際は人里に多い。人が守ってきたからこそ巨木となれるのだ。この老杉は、まさしくその典型。幹周五・九五m、樹高

二十七mもあるが、上部の幹が裂けてしまった。しかし、しっかりと手当てされ、周辺の管理も行き届く。大塩の人々がいかに大切にしているかを知ることができる。



奥会津の郷土料理

ひっけえ

昭和村のハレの日の膳で、二番目に出される汁もの。最初の汁と「ひきかえ（ひっかえ）」の意味からか、不思議な名がついている。アカハラの焼き干し・厚揚げ・人参・長ネギ・しいたげが、椀からはみ出すほど大胆に盛りられ、かつては、客人は汁のみ吸って家に持ち帰るのが習わしだった。



奥会津の神々



予祝行事

一月十五日の小正月の前後はさまざま祈りの予祝行事に彩られる。十四日は豊作を祈願する「団子挿し」。ミズキの枝に、色とりどりのダンゴが飾られ、めでたい麩菓子も添えられる。団子に荘厳された神棚の下には、ノコギリなどの農林業用の道具が並べられ、「道具の年取り」が始まる。共に働いた道具たちにも年取りをさせ、新しい年も無事に働こうとの願いだ。

この日の夜、子供たちが鳥害から作物を守り豊作を祈る「鳥追い」を行う地域もある。中学生の男子を先頭に、掛け声をかけながら一列になって集落を練り歩く。振り歩く手作りの小旗は、家々にお守りとして配られる。

翌十五日は、集落総出で小正月最大の火祭り「サイノカミ」が執り行われる。

ご神木の御幣（オンペ）に火が移り、歳神が降臨すると、集った人々は大きな歓声と共に、一年間の無病息災を祈る。予祝行事のクライマックスは、燃え盛る炎と共に集落の結束を強固にする場でもある。

(写真・文：奥会津書房)

只見線

写真・文：竹島善一

早戸駅

只見川の山峡を湖る鉄道は、早戸本村の山側をトンネルで抜ける。

只見線はダム工事の利便が優先なので、早戸の人々にとってはせっかくな活用できるようにな

った鉄道も、便がよいとは言えない。

駅に崖っぷちの道路は難所で、駅へ出るのは大変だ。ここにしか駅を作れなかった早戸の無人の駅。電柱に張り付いた雪が、前夜の吹雪を語っている。



昭和 62 年 1 月 早戸駅

『会津 蘇る記憶Ⅲ』より

Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を買おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう？

「ウチ」

ヒント：P2.「聞き書き百選」をご参照下さい。

正解者の中から抽選で3名様に、南会津町館岩地区の「お茶のみ盆」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979
奥会津書房 宛

●応募締切：2020年2月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号115号で発表いたします。



◎113号「ゆいなし」の答え：結を返す

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー



●旅行中に「110号」を見つけ、一気に読みました。写真・記事の内容が素晴らしい、奥会津が凝縮されていて感動しました。以後、購読させていただきます。(平塚市：E.Tさん)

●「結を返す」ことを私の地方では「えしごと」と言って、近所が助けて短期間で田植えなどを終える、先人の知恵であったと思います。(我孫子市：N.Aさん)

●表紙、すばらしいタデアイの写真ですね。尾瀬沿の草紅葉を思い出しました。いつも感心しています。(郡山市：O.Kさん)

●「虫供養」があるとのこととびっくり! いかにも優しいご先祖様たちがいたのかと感心してしまいました。今も続いていると…。私も菜園で虫をつぶすことがあります。精一杯生きているのだらうに、ごめんねという気持ちでいたので、供養塔の写真に向かって手を合わせました。貴紙を開けばザワザワしていた心も落ち着きます。(栃木県那須町：S.Tさん)

●三島でそばを食べたのですが、大変きれいなそばでおいしかったです。そば寒天、興味深いです。会津は本当に良いところです。(いわき市：F.Jさん)

●夏の間何気なく漬けている虫たちにも供養して詫言を語り、奥会津の人たちの心の優しさに感心させられました。(栃木県矢板市：N.Yさん)



オノエヤナギの雄花穂

奥会津だよりの
定期読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuazu.net

奥会津振興センターだよりの

第10回 歳時記の郷

奥会津 ブランドフェア

日時 2020年
2月29日(土) 9:30~18:00(予定)
3月1日(日) 9:30~16:00(予定)

会場 コラッセふくしま
福島観光物産館1階(福島駅西口)

福島県・奥会津地方の豊かな自然から生まれた自慢の逸品を販売いたします。奥会津の魅力を満喫できる会場へ、ぜひお越しください。

奥会津イベント情報

2月~3月

期日	イベント名	町村名	場所	問合せ
1月6日(月)~3月29日(日)	喰丸小フォトアワード 入賞作品展示	昭和村	交流・観光拠点施設 喰丸小	昭和村観光交流係 ☎0241-57-2124
2月1日(土)~2日(日)	第40回会津やないづ冬まつり	柳津町	道の駅会津柳津	会津やないづ冬まつり実行委員会(柳津町地域振興課内) ☎0241-42-2114
2月8日(土)	第48回雪と火のまつり	三島町	三島町町民運動場	三島町観光協会 ☎0241-48-5000
2月8日(土)~9日(日)	第48回只見ふるさと雪まつり	只見町	JR只見駅前広場	只見ふるさと雪まつり実行委員会(只見町観光商工課内) ☎0241-82-5240
2月9日(日)	スーパースポーツゼビオスキー大会	金山町	フェアリーランドかねやまスキー場	フェアリーランドかねやまスキー場 ☎0241-54-2022
2月11日(火・祝)	県ジュニアアルペンスキー大会	金山町	フェアリーランドかねやまスキー場	フェアリーランドかねやまスキー場 ☎0241-54-2022
2月15日(土)~16日(日)	第47回クロスカントリースキー伊南杯	伊南地域	伊南クロスカントリースキーコース	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
2月16日(日)	第42回会津かねやま雪まつり	金山町	金山町民体育館周辺	金山町観光物産協会 ☎0241-42-7211
	第40回読売杯南郷スラローム大会	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎0241-73-2111
2月23日(日)	第37回からむし織の里雪まつり	昭和村	道の駅からむし織の里しょうわ	昭和村観光協会 ☎0241-57-3700
	第1回ねっか杯ワンメイクジャンプ大会	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎0241-73-2111
~2月29日(土)	喰丸小ウィンターイルミネーション	昭和村	交流・観光拠点施設 喰丸小	昭和村観光交流係 ☎0241-57-2124
3月1日(日)	第18回福島民報杯会津高原たかつえB級GSポイント大会	館岩地域	会津高原たかつえスキー場	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
3月4日(水)	ひな流し	三島町	高清水地区	三島町教育委員会 ☎0241-48-5599
3月7日(土)~8日(日)	県選手権スキー大会(技術系)	金山町	フェアリーランドかねやまスキー場	フェアリーランドかねやまスキー場 ☎0241-54-2022
3月7日(土)	南郷スノーフェス2020	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎0241-73-2111
3月14日(土)~15日(日)	第19回全国編み組工芸品展 第39回三島町生活工芸品展	三島町	三島町交流センター山びこ 三島町生活工芸館	三島町生活工芸館 ☎0241-48-5502
3月15日(日)	第1回花泉口万カップ	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎0241-73-2111
3月20日(金)	第31回福島民報杯南郷スノーボード大会	金山町	フェアリーランドかねやまスキー場	フェアリーランドかねやまスキー場 ☎0241-54-2022
3月21日(土)~22日(日)	かねやまGS大会	金山町	フェアリーランドかねやまスキー場	フェアリーランドかねやまスキー場 ☎0241-54-2022
3月下旬	2020林千春メモリアルSAF公認記録会 第44回SAF公認朝日杯スラローム大会	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	スキー大会事務局(檜枝岐村役場総務課内) ☎0241-75-2500



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)

発行日：1月15日発行(年6回発行)事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター内奥会津振興センター TEL.0241-48-5525

http://www.okuazu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。